

2011年度

科目名	経済と社会A			
担当教員	村上 慎司			
配当	文 1・教育1・人間1		コード	25013
開期	前期	講時	火曜日5限	単位数 2
授業テーマ	経済学の観点を中心に我々が暮らす日本社会の諸問題を学習・思考する。			
目的と概要	本科目の目的は、高校までの政治経済、倫理、歴史、数学等を踏まえた上で経済学と隣接社会科学の観点から、我々が暮らす日本社会の諸問題の現状と背景を学び、その解決に向けて考える。 現代日本社会は経済と深く結びついている。例えば、消費行動、労働を通じた所得獲得、各種の納税、社会保障受給等が挙げられる。だが、現代社会は、不安定な労働、財政赤字、格差や貧困等の困難な問題に直面している。これらの問題に対して、経済学は有効な分析手法を提供する。とはいえ、経済学にも限界がある。そこで、本科目は、その限界を政治哲学を中心とする隣接社会科学で補いつつ、具体的には、(1)経済学の基本事項、(2)労働、(3)税金、(4)社会保障についての講義を行う。			
成績評価法	期末試験(80%)と、講義時の平常点(20%)で、評価する。 詳細は初回のオリエンテーションで説明する。			
テキスト				
参考書	世界一シンプルな経済入門 経済は損得で理解しろ！／飯田泰之／エンターブレイン これからの「正義」の話をしよう／マイケル・サンデル／早川書房 税を直す／立岩真也／青土社			
履修に当たっての注意・助言 /準備学習	オリエンテーションでは、講義の詳細について説明するので、必ず出席しなければならない。なお、本科目は座席制を導入し、私語・携帯電話の使用・遅刻等の真摯な学習態度ではない行為は厳格に処罰する。 準備学習として、前回までの配付資料を熟読することが必須である。また、経済と社会に関連する新聞や報道に関心を持つことが推奨される。			
講義計画				
1. オリエンテーション 2. 経済学の基本事項 (1) 3. 経済学の基本事項 (2) 4. 経済学の基本事項 (3) 5. 労働について (1) 6. 労働について (2) 7. 労働について (3) 8. 税金について (1) 9. 税金について (2) 10. 税金について (3) 11. 社会保障について (1) 12. 社会保障について (2) 13. 社会保障について (3) 14. 社会保障について (4) 15. まとめ				